

外来種ムネアカオクロテントウ *Synona consanguinea* Poorani, Slipinski et Booth, 2008 の川崎市における記録

堀内慈恵*・長谷川誠**

Some records of the alien coccinellid species, *Synona consanguinea* Poorani, Slipinski et Booth,
2008 in Kawasaki City

Yoshie Horiuchi* and Makoto Hasegawa**

ムネアカオクロテントウ *Synona consanguinea* Poorani, Slipinski et Booth, 2008 は、中国、タイ、ミャンマー、ベトナムに分布するテントウムシ科 Coccinellidae の外来種である。国内では 2014 年に大田区で初めて確認され、神奈川県でも 2015 年に発見された (中西ほか, 2016)。クズ *Pueraria lobata* につくマルカメムシ *Megacopta punctatissima* の幼虫を捕食し、県内では近年、川崎および横浜地域を中心に分布が拡大しつつある (平野ほか, 2018)。

2019 年 4 月、生田緑地を中心に長年にわたって生物の撮影をされている中井寿一氏より、「見たことのないテントウムシがいた」と、翅が黒く、頭部～腹部裏面、脚はすべてオレンジ色のテントウムシが川崎市青少年科学館 (通称: かわさき宙 (そら) と緑の科学館) に持ち込まれた。筆者の一人堀内は本種ではないかと考え、大阪市立自然史博物館のウェブサイト (初宿, online) で本種の情報を集めている初宿成彦氏に問い合わせ、写真で同定確認していただいた。この件をきっかけに、本種について市内の情報を集めたところ、長谷川が 2017 年に市内で確認していたことが判明し、その後も標本 4 点 (うち 1 点は未登録) と画像 1 点が集まった。本稿では、文献記録も併せて、これまでの川崎市内での記録を取りまとめて報告する。

証拠となる標本と画像は、すべて川崎市青少年科学館に保管されている。

採集・観察記録

[麻生区] 1 ex., 白山四丁目, 21-VII-2018, 市内小学生目撃。

[多摩区] 1 ex., 東生田一丁目, 29-IV-2019, 中井寿一採集, KMM-IN-23006021; 1 ex., 東生田一丁目, 20-IX-2019, 中井寿一採集, KMM-IN-23006023。

[宮前区] 1 ex., 神木本町 東高根森林公園,

26-X-2017, 長谷川 誠撮影; 1 ex., 同前, 28-XII-2019, 長谷川 誠採集。

[高津区] 1 ex., 北見方三丁目, 26-VIII-2019, 成田和子撮影。

[幸区] 1 ex., 南加瀬 夢見ヶ崎動物公園, 1-IX-2017, 長谷川 誠撮影; 1 ex., 同前, 18-VIII-2019, 長谷川 誠採集, KMM-IN-23006022。

文献記録

[中原区] 等々力 (松原, 2017); 上丸子八幡町 (多摩川緑地) (藤森, 2019)。

[幸区] 堀川町 (松原, 2017)。

川崎市での初めての報告は上記、松原 (2017) による、中原区等々力および幸区堀川町からの記録である。どちらの記録も、2016 年にクズが繁茂している場所から採集されている。一方で、同年 8～11 月の調査では、多摩区長尾 (東名高速道路沿い)、宮前区野川 (第三京浜沿い)、高津区久本一丁目 (武蔵溝ノ口駅南側)、幸区南加瀬 (夢見ヶ崎動物公園周辺) においては確認されなかったことも述べられている (松原, 2017)。その後、宮前区神木本町 (東高根森林公園)、幸区南加瀬 (夢見ヶ崎動物公園周辺) では、2017 年に確認され、2019 年には採集しているため、近年に定着したものと考えられる。多摩区東生田一丁目での記録は生田緑地と隣接する場所で、生田緑地の他の場所では確認されていないが、今後の増加が懸念される。麻生区白山四丁目からの情報は、川崎市環境局が取りまとめているウェブサイト「かわさき生き物マップ」 (川崎市環境局総務部環境調整課, online) に投稿されたもので、環境局環境調整課から情報提供があった。同サイトへの写真等の提供はなかったが、この情報を投稿した小学生は、事前に初宿氏に問い合わせ本種であることを確認しているため、今回、正式に記録に含めるこ

*川崎市青少年科学館 (かわさき宙と緑の科学館) Kawasaki Municipal Science Museum

**川崎市夢見ヶ崎動物公園 Kawasaki Yumemigasaki Zoological Park

とした。これまでの記録状況を概観すると、川崎市東南部により多くの情報があるなかで、北西部にも分布が拡大しつつある可能性が想定される。本市域には、まとまった緑地にはもちろんのこと、住宅地の中にもクズが繁茂する場所が多数存在するため、分布は更に拡大する可能性がある。引き続き、今後の動向を注視していく必要がある。

本稿の作成に当たり、本種に関する情報や標本資料をご提供いただいた中井寿一氏(横浜市)、成田和子氏(かわさき自然調査団)、標本写真によるご同定をいただいた初宿成彦氏(大阪市立自然史博物館)、並びに本稿作成に当たってご助言いただいた川島逸郎氏(横須賀市)に、記して深謝を申し上げます。

引用文献

平野幸彦・秋山秀雄・松原 豊・守屋博文・西川正明・野津 裕・高橋和弘・滝沢春雄・露木繁雄・渡辺 崇, 2018. コウチュウ目

Coleoptera. *In*: 神奈川県昆虫談話会(編), 神奈川県昆虫誌 2018 [II]. 639 pp., 神奈川県昆虫談話会, 小田原.

松原 豊, 2017. 神奈川県および東京都におけるムネアカオオクロテントウの追加記録. 神奈川県虫報, (192): 6-8.

中西康介・松原 豊・青井光太郎・持田浩治・日高直哉, 2016. 外来種ムネアカオオクロテントウを東京都および神奈川県で発見. さやばねニュー・シリーズ, (21): 58.

インターネット情報

川崎市環境局総務部環境調整課, (online). かわさき生き物マップ. <http://kawasaki.geocloud.jp/webgis/biodiversity.html> (参照 2019.12.25)

初宿成彦, (online). “今広がっている外来テントウムシ.” 大阪市立自然史博物館. <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/shiyake/Synona-consanguinea.html>, (参照 2019.12.25)